

調達管理番号・案件名
25a00398_ナイジェリア国アブジャ総合都市開発マスタープラン更新プロジェクト

質問と回答は以下のとおりです。

2025年9月11日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	17	第4条 業務の内容 2.本業務にかかる事項 6) 土地利用とGIS データの現況	GISデータ構築の予算が計上されていませんが、FCDA/FCTAが必要なデータ(FCC/FCTの全域をカバーした現況土地利用図など)を保有しているという理解でよろしいでしょうか。提供可能な場合、各データの諸元(作成年、縮尺、ソース、作成者など)を提供していただけないでしょうか。また保有していない場合、追加予算措置を想定されておりますか。工期が限られているため、円滑な判断が必要な事案と存じます。	GISを所管するAbuja GISが保有しているGISデータの提供を受ける予定で、これを活用する想定ですので、見積は不要です。 なお、現時点では提供を受けていないため、データの諸元は確認できていません。 万一、先方政府の都合でデータ提供不可となった場合には追加予算措置を検討いたします。
2	50	4.見積書作成にかかる留意事項 (4)定額計上について	連邦政府の定める「SEAガイドライン」では、連邦環境省が認可した環境コンサルタントがSEAを実施すること、また、SEAの実施において影響を受けるステークホルダーの関与を確保することが規定されています。これらに係る経費(調査以外も含む)は、定額計上される「環境社会配慮調査」の経費に含まれるのでしょうか。また、当該環境コンサルタントが実施するステークホルダー協議・会議の経経費は「環境社会配慮調査」の範囲に含めるのか、それとも「現地セミナー(国際会議・ステークホルダー会議)開催費」として区分するべきなのでしょうか。	御指摘の経費はすべて、「企画競争説明書」P.50で定額計上を指示した「環境社会配慮調査11,200千円」の範囲内でご検討ください。